

# ■ 2009年度 入試問題分析シート ■

京都大学

前期日程

科目

日本史

総括

試験時間	90分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	総人(文)・教育(文)・経済(一般) 100点、 文・法 50点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

- ・大問4題のうち、3題が記述形式、1題が論述問題と例年通りの出題形式である。
- ・短文説明問題が減少し、戦後史の出題が少なかったため、昨年度よりはやや易化した。

〈特記事項・トピックス〉

- ・短文説明問題の減少。
- ・史料問題が易化した。
- ・Ⅳ(2)が2008年度の第2回京大実戦模試第4問とほぼ同一問題であった。

〈合格への学習対策〉

京大志望者には、私大タイプの記述問題への対策と論述問題への対策の両方が必要とされる。しかし、特別な参考書などは必要なく、高校教科書を用いて地道な学習を積み重ねていくことが大切である。論述対策には、過去問とともに、京大実戦模試の復習が有用である。

## 設問ごとの分析

問題番号	出題形式	分野・テーマ(表題)	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
Ⅰ	記述	中世・近世・近代の諸史料	A. 嘉吉の乱(『看聞日記』)、B. 百姓一揆・打ちこわし(御触書天明集成)、C. 日独伊三国同盟	やや易
Ⅱ	記述	古代～戦後の諸事象	短文雑題。各時代の文化史からの出題がやや難。	やや難
Ⅲ	記述	原始古代・中世・近代の諸テーマ	A. 原始・古代の建築、B. 鎌倉時代の荘園、C. 明治期における立憲政体の形成	やや難
Ⅳ	論述 (200字×2)	古代の政治・近世の文化	(1) 8世紀から11世紀における国司制度の変遷 (2) 江戸幕府の蘭学政策とその政策が蘭学に与えた影響 (1)については、字数制限を考えて変遷のポイントを絞って書くのが難しい。(2)については、幕府の蘭学政策に受容と弾圧の二面性があったことを書くのがポイント。	難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。